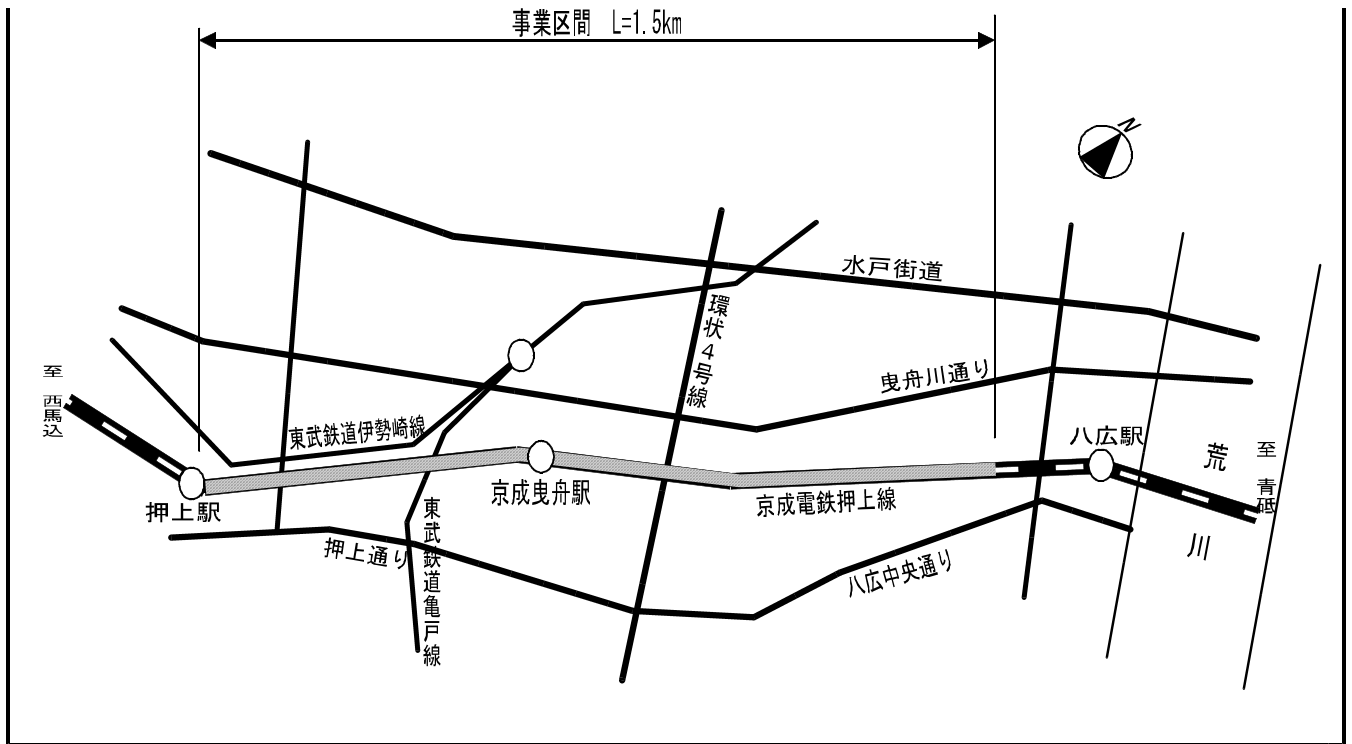


再評価結果（平成16年度事業継続箇所）

担 当 課：都市・地域整備局街路課

担当課長名：齊藤 親

事業名：環状第4号線（京成押上線）		事業：街路事業	事業：東京都
事業概要：京成押上線の押上駅から八広駅までの間、延長約1.5kmを連続立体交差化し、8箇所の踏切を除却することで、交通渋滞や地域分断を解消するとともに安全で快適なまちづくりを行い、沿線地域の都民生活と都市活動を向上させる。（平成7年4月に新規事業採択）			
H12年度事業化	H9年度都市計画決定 （H 年度変更）	H12年度用地着手	工事未着手
全体事業費	310億円	事業進捗率	11% 供用済延長 km
計画交通量	22,000台/日		
費用対効果 分析結果	B/C （事業全体）	総費用 （残事業）/（事業全体） / 238億円	総便益 （残事業）/（事業全体） / 635億円
	2.7 （残事業）	（事業費） / 238億円 （維持管理費） / 億円	（移動時間短縮便益） / 610億円 （走行費用減少便益） / 24億円 （交通事故解消便益） / 1億円
基準年：平成15年			
感度分析の結果			
事業の効果等 踏切が除却されることにより、交通渋滞及び踏切事故が解消され、道路と鉄道の安全性が向上する。鉄道で分断されていた地域が一体化し、地域の発展、街づくりに貢献する。			
関係する地方公共団体等の意見 地元の理解・協力の状況：地元商店街等も期待しており、事業に対する理解は得られている。			
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 除却する8箇所の踏切のうち、環状第4号線踏切は、ピーク時間の遮断時間が41分で慢性的な渋滞を引き起こしており、道路交通の安全性、円滑性を著しく阻害している。			
事業の進捗状況、残事業の内容等 進捗率：用地は47%を取得している。工事については、未着手である。 残事業：残用地物件数は20件である。平成17年度には、仮線工事に着手する予定である。			
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 一定期間を要した背景：平成7年4月に新規事業採択された後、都市計画決定、事業認可取得を経て、平成12年11月から用地取得に着手したところである。			
施設の構造や工法の変更等 事業化に際し、立体化に関する十分な比較検討を行っており、事業手法、施設規模等の見直しの可能性はない。			
対応方針：事業継続			
対応方針決定の理由 踏切を除却することにより交通渋滞や地域分断の解消を図るためには、必要不可欠な事業であり、早期完成に向け、事業を進めていく必要がある。 以上から、対応方針は「継続」とする。			
事業概要図			



総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。